



学校だより

われら松濤中生

発行年月日
平成21年3月17日 3月号
(NO. 11)

渋谷区立松濤中学校

SHOTO Junior High School

TEL(3 4 6 9) 2 4 5 1・2 4 5 2

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

【教育目標】○みんなを愛する生徒 ○自ら学び考える生徒 ○生き生きと活動する生徒

生きることは呼吸することではない。行動することだ。(ルン—)

校長
鈴木富樹

3年生の皆さん、卒業おめでとう！

人生には、何回卒業式があるのでしょうか。一般的に学校を卒業するというと、小学校、中学校、高校、大学の4回になります。学ぶべき課程を全て修了した事を認定し、そのお祝いをする式典を卒業式というわけですが、その証明に卒業証書(修了を認定する証書)が授与されています。

そのように大きな節目の卒業式ですから、19日の卒業式当日に、皆さんにお褒めしたいことがあります。それは、じっくりと卒業証書を読んでみてほしい、ということです。本当に短い文の行間に、皆さん個人個人の思い出とご家族の思い出がびっしりと詰め込まれているはずです。

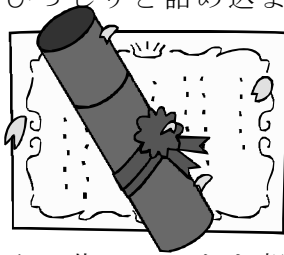
中学に入学してからの3年間は、人それぞれに様々な事があったと思います。楽しいことや嬉しいことばかりでなく、辛くて苦しいことも思い出されることでしょう。しかし、はっきりしていることは、あなた自身が、「それを乗り越えて今がある」ということです。同時に、あなたの周りに、「あなたを支えていた人たちがいた」ということでもあります。

たった1枚の紙ではありますが、そのようなことを、行間から読み取れるのが卒業証書です。ぜひ、じっくりと味わって読んでいただきたいと思います。

皆さんの今後の活躍を期待しています。

保護者の皆様

お子様のご卒業おめでとうございます。当日は、卒業生全員に祝福をお願いいたします。また、校歌も一緒に大きな声で歌っていただければ幸いです。これまで学校を応援していただき、ありがとうございました。



1. 2年生は、バトンを受け継いで！

皆さんは、卒業式を最後に、3年生を松濤中学校から送ることになります。

3年生が最上級生として何をしてきたか、何ができたかを、皆さんは、よく見てきたと思います。ぜひ、今の3年生を手本として、それ以上の役割や成果を出そうという意気込みで、今後の学校生活を送ってほしいと思います。具体的には、次のようなことです。

最上級生としての自覚、つまり、「3年生は学校の顔である」ということをしっかり感じて、学校を良い方向に盛り上げることです。

例えば、

- 校内外で問題行動を起こさない
- 部活動等で下級生をリードする
- 連合行事等対外的な活動で成果を上げる
- 思いやりをもって生活する
- 行事には全力で、まとまって取り組む
- 真剣な態度で授業に臨む

などです。

特に2年生は、個々が様々な可能性を秘めているだけに、みんなでまとまって取り組む気持ちを表面に出せば、とても良い三年生になると思います。「新たな顔」としてバトンを受け継いでほしいと強く希望します。

卒業しても、松濤中生であり、松濤中の保護者です

21年度は、松濤中学校の60周年に当たります。年間を通してお祝いをしますので、屋上には「祝松濤中学校60周年」の看板が立てられました。同窓会からの寄贈です。皆さんも同窓生として、これからも学校を応援していただきたいと思います。



松濤中学校

職場体験学習を終えて

2年生は、1月26日から1月30日まで各事業所で5日間の職場体験学習を行いましたので、感想を紹介します。受け入れて頂いた各事業所に深く感謝致します。

2年A組

ビジネスマナーを覚えるのが大変でした。特に電話対応では、適切な敬語がすぐ出てこなくて、つまってしまうことが多かった。また、翻訳ではなかなか良い訳が浮かばず、一文を作るにも時間がかかりました。いろいろな辞書で調べた物の中で、どれが一番ネイティブな訳かを判断するのも苦労しました。電話対応では、言葉遣いや声で印象が決まるので敬語で優しく話さなければいけないことや、接客ではおじぎをゆっくりと丁寧にする事学びました。しかし、一番大切なのは笑顔です。(人材派遣)

2年B組

私はいつも買う側の立場で商品を見ていました。けれども、実際にお店側の立場に立つと店員さんの動きの速さには驚くばかりで、細かいところにも目を配らなければならないということがわかりました。今回の体験学習で一番学んだことは「あいさつ」の大切さでした。「いらっしゃいませ」の言葉でそのお客様の気持ちが変わると聞き、私もできる限りあいさつをしようと思う。(商店)

2年B組

職場体験を通して、仕事をするということが少し自分なりに、分かったように思います。保育園に行く前に、家で母と話した時に「子ども達と遊ぶときは、子ども達とお話をし、そして一緒に遊ぶのよ」という母の言葉をいつも忘れないで過ごしていました。

先生方の子ども達への愛情もとても感じられました。子ども達に「最後の日に、来週も来てくれるの？来てね。」と言われたときは、本当に寂しかったです。私の夢は、保育士です。今回の職場体験で教えて頂いたことを忘れずに、今後も勉強やそして夢の実現に向かって頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。(保育園)